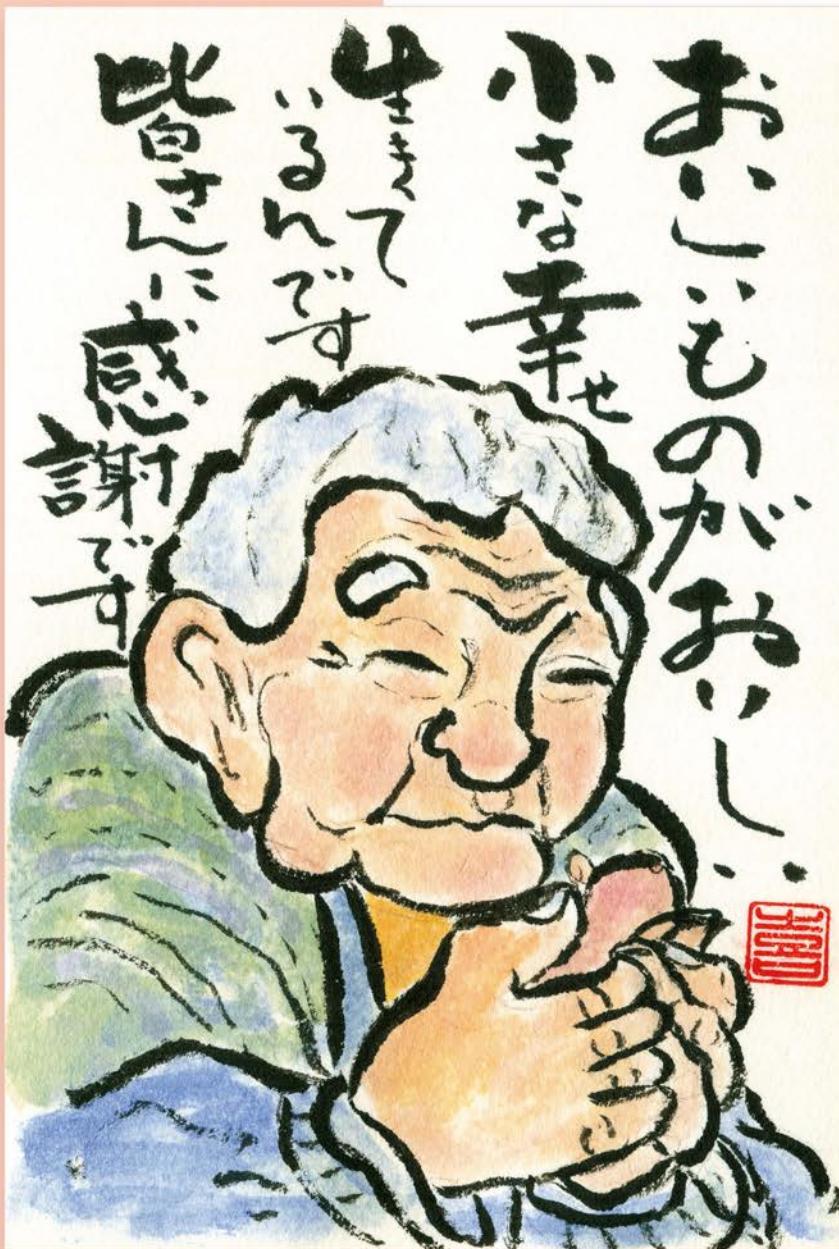


ひまわり

社会福祉法人 福寿園 機関紙



第18回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 向井 喜八 様

- 2 第30回 職員合同研修会開催
- 3 敬老特集 ●長寿番付2022
- 4 ▶ 5 利用者満足度調査の結果について
- 6 連載vol.56 ●[記録に残したい記憶]～貴重な体験を語り継ぐ～
- 7 ▶ 10 各施設トピックス
- 11 福寿園ニュース
家族会だより
- 12 連載
●[新連載スタート]
福寿園オリジナル四コマまんが「新人介護士 フクちゃん」
●施設長・管理者のリレーコラム

165号
令和4年9月10日

第30回

職員合同研修会開催



トークセッション

7月19日、第30回職員合同研修会が3年ぶりにロワジールホテル豊橋を会場に開催されました。併せてコロナ感染予防を踏まえ、会場での参加者を通常の半分ほどに制限し、各施設オンラインによる同時中継というハイブリッド型で279名の職員が参加しました。

冒頭に永年勤続表彰が行われ、豊橋会場に参加した10年以上の勤続表彰者87名に対し、一人ひとりに理事長より感謝状と記念品が贈られました。特に今年は法人の事業拡大の節目となつた主たる大型施設の開設年度に入社した職員が多く、代表謝辞も当時の施設立ち上げの苦労や上司、先輩、同僚等への感謝等、熱い思いが込められていました。



永年勤続表彰



オンライン研修

午後からは外部講師お二人を豊橋

に策定された中長期経営計画の中間に見直しにともなう改定版について基礎調査があり、法人の方向性を伝達し、次なる時代に法人の目指す姿を共有しました。

続いて、昨年度に実施された利用者満足度調査結果について、利用者へのヒアリングから集計までをご担当いただいたNPO法人しんしろドリーム荘代表の山本拓哉氏にご登壇いただき、トークセッション形式で今回の調査結果を総括していただきまし

た。「満足度のいたちごっこ」「動かさぬ介護、食べさせぬ介護」といった大変分かりやすいキーワードでご説明いただきました。

午後からは外部講師お二人を豊橋

に迎えました。

午前は、まず理事長より平成28年に策定された中長期経営計画の中間に見直しにともなう改定版について基礎調査があり、法人の方向性を伝達し、次なる時代に法人の目指す姿を共有しました。

続いて、昨年度に実施された利用者満足度調査結果について、利用者へのヒアリングから集計までをご担当いただいたNPO法人しんしろドリーム荘代表の山本拓哉氏にご登壇いただき、トークセッション形式で今回の調査結果を総括していただきまし

た。「満足度のいたちごっこ」「動かさぬ介護、食べさせぬ介護」といった大変分かりやすいキーワードでご説明いただきました。

会場にお迎えしました。

初めにレビー小体病当事者の樋口直美氏より「内側から見た認知症（法）」をテーマにご講演いただきました。

本人も介護者もお互いに楽になる方

らしさ、魂を感じ、寄り添っていくことの大切さを学びました。

続いては、マナーセンス代表の湯佐弘子氏より「ペップトークで介護の世界をより良くしよう（ディズニーランド）に学ぶ 快適な職場の創り」についてご講演をいただきました。ペップトークとは短く、分かりやすく、肯定的な意欲を引き出す言葉かけです。どのような状況でも自分自身のとらえ方を変換させるこ

とで感情や行動も変えることができ、サービス向上や職場のチームワーク、そして、自分自身の人生を豊かにできることを学びました。

コロナ禍により職員が同じで行事等を行うことが難しい状況ですが、参加者の声からはオンライン会場でも同じ思いを共有できたという声も多く、第30回の節目に新たな開催方法が確立できることも大きな成果となりました。

祝敬老 おめでとうございします

今年の9月19日(月)は敬老の日です。多年にわたり社会に尽くしてきたお年寄りを敬愛し、長寿を祝うとともに、若年者が高齢者の福祉に関心を深める機会になるようにとの願いも込められています。
お健やかに敬老の日を迎えられますことに、心からお慶び申し上げます。

西

同	同	同	前頭	小関	関	横綱	東海	村瀬のぶ江	(105歳四月)
同	同	同	大関	大関	大関	大関	東海	田中やじゅう	(104歳四月)
同	同	同	脇田	津牧	成田	玉桜	村瀬	紫田スエコ	(103歳三月)
四	武	三	原	鈴木	花	一	田中	大島やス	(103歳三月)
豊	厚味	與	藤田	玉桜	玉桜	玉桜	中	ハツエ	(103歳三月)
喜	三吉	三吉	原	原	原	原	神	ヨイ	(103歳三月)
一	一	一	原	原	原	原	中	マツ	(103歳三月)
二	二	二	原	原	原	原	神	マツ	(103歳三月)
三	三	三	原	原	原	原	中	モトエ	(103歳三月)
四	四	四	近藤	近藤	近藤	近藤	神	業	(101歳四月)

祝
敬老

福壽園 長寿番付 10111

令和四年秋場所
行司 山田 勝三

年齢はすべて令和四年八月末現在です。
(敬称略)

東

同	同	同	前頭	小関	関	横綱	東海	村瀬のぶ江	(105歳四月)
同	同	同	結	脇花の里	大島	大関	東海	田中やじゅう	(104歳四月)
同	同	同	一	一	大島	大関	村瀬	紫田スエコ	(103歳三月)
同	同	同	春	春	大島	大関	田中	大島やス	(103歳三月)
同	同	同	近藤	亦村	亦村	亦村	中	ハツエ	(103歳三月)
同	同	同	近藤	原	原	原	神	ヨイ	(103歳三月)
同	同	同	近藤	原	原	原	中	マツ	(103歳三月)
同	同	同	近藤	原	原	原	神	モトエ	(103歳三月)
同	同	同	近藤	原	原	原	中	業	(101歳四月)

同	同	同	同	同	同	同	同	五	五
同	同	同	同	同	同	同	同	六	六
同	同	同	同	同	同	同	同	田原	田原
同	同	同	同	同	同	同	同	伊藤	伊藤
同	同	同	同	同	同	同	同	河邊	河邊
同	同	同	同	同	同	同	同	赤	赤
同	同	同	同	同	同	同	同	春	春
同	同	同	同	同	同	同	同	志	志
同	同	同	同	同	同	同	同	づ	づ
同	同	同	同	同	同	同	同	小出	小出

同	同	同	同	同	同	同	同	五	五
同	同	同	同	同	同	同	同	六	六
同	同	同	同	同	同	同	同	田原	田原
同	同	同	同	同	同	同	同	藤井	藤井
同	同	同	同	同	同	同	同	河邊	河邊
同	同	同	同	同	同	同	同	赤	赤
同	同	同	同	同	同	同	同	春	春
同	同	同	同	同	同	同	同	志	志
同	同	同	同	同	同	同	同	づ	づ
同	同	同	同	同	同	同	同	小出	小出

同	同	同	同	同	同	同	同	西	西
同	同	同	同	同	同	同	同	伊藤	伊藤
同	同	同	同	同	同	同	同	東	東
同	同	同	同	同	同	同	同	山田	山田
同	同	同	同	同	同	同	同	勝	勝
同	同	同	同	同	同	同	同	三	三
同	同	同	同	同	同	同	同	東	東
同	同	同	同	同	同	同	同	漁	漁
同	同	同	同	同	同	同	同	森	森
同	同	同	同	同	同	同	同	川	川

同	同	同	同	同	同	同	同	西	西
同	同	同	同	同	同	同	同	伊藤	伊藤
同	同	同	同	同	同	同	同	東	東
同	同	同	同	同	同	同	同	山田	山田
同	同	同	同	同	同	同	同	勝	勝
同	同	同	同	同	同	同	同	三	三
同	同	同	同	同	同	同	同	東	東
同	同	同	同	同	同	同	同	漁	漁
同	同	同	同	同	同	同	同	森	森
同	同	同	同	同	同	同	同	川	川

第11回

利用者満足度調査の結果について

ご協力ありがとうございました



しんしろドリーム荘の山本拓哉代表理事には、令和4年2月～3月、まさに第6波のさなかに毎朝の抗原検査ほか、アクリル板、マイク、スピーカー、CO₂センサー等万全の感染症対策をして聞き取り調査をしていただきました。養護やケアハウスのご利用者の中には2年に一度の聞き取り調査を楽しみにしている方も見えます。法人に忖度することなく、しっかりと利用者に寄り添って心の奥の本音を引き出してください、私どもにとっては耳の痛い意見も文章化して考察を加えていただいている。

コロナ禍の聞き取り調査

平成14年に始めた利用者満足度アンケートは2年に一回実施し、今年で11回目となりました。今回も特定非営利活動法人しんしろドリーム荘（愛知県新城市）に委託して、令和4年1月30日から3月31日まで郵送調査と訪問聞き取り調査を行いました。コロナ禍でしたが、406名に郵送もしくは聞き取り調査を行い、3,693名の方から回答をいただきました。有効回答率は68・3%ですが、コロナ禍の2年間、利用者との面会や行事も制限された状況において「わかるところだけでも」と回答をお寄せいただいたご家族の皆様に感謝申し上げます。

ニーズとケアのすれ違い

毎回、気になる要望、ワードがありますが、今回は『動かさぬ介護・食べさせぬ介護』というものです。転倒事故防止のために「一人で動かないで…」とセンサーでベッドに拘束すること、普通食が食べられる（食べたい）と思っている利用者に刻み食・やわらか食を提供していることに不満の声が寄せられました。センサーについては、居室のご利用者の様子を把握し、転落・転倒による骨折予防の目的で設置していますが、ご利用者からは、「見守られているのか、見張られているのかわからない」、「動かないと動けなくなってしまう」という声がありました。目の届かない居室での骨折を防ごうとすることが却つてご利用者の動きを制限し、心理的にも相当のストレスを与えてしまっていたのです。食事も同様で、安全においしく食べてもらおうと刻み食ややわらか食を提供するのですが、ご利用の方からすれば、普通食が食べたい。刻み食ややわらか食の味の課題のほかに、自分で咀嚼して食べる方が食材の旨味を味わえ、満足感が得られるということもあるのでしょうか。職員として良かれと思つてしまつたことがいつの間にか、度を越していくたり、骨折や

窒息を防ぐ行為が日々の楽しみや自由を奪っているとしたら、本末転倒です。しんしろドリーム荘の山本氏

にも「ご利用者の望むケアと職員が目指すケアがそれ違っていないだろうか」と、ご指摘いただきました。

ご利用者が幸せに生きていけるよう、ご家族にも同意をいただき、ご利用者の意向を尊重したケアプランを立

てたいと思います。

ケアハウス・養護の課題

ケアハウスや養護のご利用者からは「入居者同士の話し合いがしたい。

施設特有のしきたりがあるが、もう少し風通しを良くしたい」、「問題がある入居者がいるが職員は注意をしない」とありました。終の棲家と決め、入居した方にとっては、入居者間の問題は相当なストレスで

しょう。公明正大なルールのもとでお互いに気持ちよく暮らしたいという気持ちに応えられるようケアハウス・養護では利用者とともにルール作りができる仕組みづくり、定期的な会議の開催をしていきます。

職員教育と品質管理

「名札を付けていない職員が居るが付けるべき」、「ひと声かけてから鞄からものをとり出してほしい」、「汚れものを触った手で風呂上りの人との着替えをしないでほしい」、「ヘルパーによってやり方が違う戸惑う」、「若いヘルパーを教育してほしい」等、衛生管理、気遣い、職員教育に関する要望も多く、山本氏から

も個人の資質に任せることではなく、福寿園の品質を保つよう、法人としての教育の仕組みを強化するようにアドバイスをいただきました。また職員の連絡・連携についても「連絡内容に齟齬がある」、「ご利用者からの連絡が伝わっていないことがある」との不満がありました。事業所間の連携不足で毎年楽しみにされていた福寿園カレンダーがもらえなかつたという記述もあり、少しの気遣い・確認で防げたことなので残念でなりません。これが健康管理・安全に関することであれば、大ことでなく一度、事業所内・事業所間の連絡・連携システムの確認をするようになります。

認知症の方の想い

グループホームの入居者も「何もせずにぼうとしていると人間ダメになる」、「体は不自由だけれど、自分で考え工夫している」等、私たちが自分の生活を律するように、認知症の方も自立するための工夫をしており、「人は短所ばかり目につくものだけれど、お互いの良いところを見るようにしよう」と、人生の大先輩としての示唆に富んだ発言もありました。認知症の方はうまく言葉にできない時もあるけれど、認知症の方それぞれの『生きがい』や『役割』

を考え、心の内に秘めている自尊心やアイデンティティを尊重したケアに努めなければなりません。うまく表現できないだけで、私たち以上に感受性が強いということも踏まえ、『傾聴』し、ストレス軽減・笑顔が増えるケアを実践していきます。

職員一丸となって

現在、福寿園には正職員、パート職員、高齢者雇用、障がい者雇用、外国人スタッフ等、総勢1,700名の職員が在籍しています。一人ひとりのバックグラウンドも様々ですが、『福寿園』という法人の理念のもとに集まつた同志として、一丸となってご利用者の満足度を高める努力をしてまいります。

最後に

最後になりますが、第11回利用者満足度調査報告書に貴重な意見をお寄せくださいましたご利用者・ご家族の皆様に、改めてお礼申し上げます。当該報告書は各施設に配布しておりますので、ご自由に閲覧していただき、ご意見・ご要望につきましてはその都度、施設長、管理者、相談員等へお知らせいただけますと嬉しいです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

連載 56

記録に残したい記憶 ～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談をご紹介していきます。

私は、愛知県名古屋市で生まれ、3人兄弟の真ん中で元気にすくすくと育ちました。しかし、私は父の記憶がありません。

父は私が4歳の時に戦死しています。父の記憶はありませんが、安城に集団疎開し、岡崎の大空襲など、戦時の記憶はたくさんあります。安城から再び名古屋へ移り、まだ小学生だった私は、「生きる」ために悪いことをしてきたことを、今では反省しています。

中学校を卒業し、印刷会社に就職しました。しかし、その印刷会社の社長の妹さんに「あなたは勉強をしない」と言われ、夜間の高校に入学しました。今思えば、これが私の1回目の転機になつたのでしょうか。高校を卒業し、大学にも進学しま



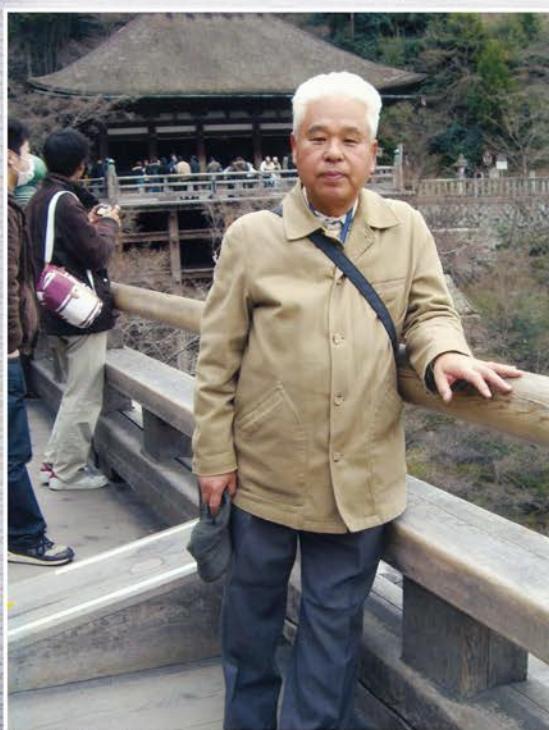
消防隊員時代

第一」は一度も忘れたことはありません。最終的には消防署長まで務めさせていただきました。昭和61年の大型船舶火災では、一時隊員も船内に閉じ込められ、生死にかかる窮地に追い込まれましたが、冷静な判断と決断により全員脱出できた時の喜びは、今でも心に残っています。

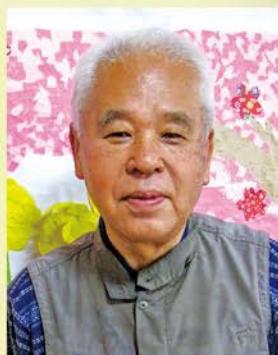
退職後は妻や孫たちとたくさん旅行に行きました。北海道や長野県など色々な場所へ行きましたが、京都の清水寺へ

たからでしようか、突如体調が悪くなり、今でも耳鳴りが治りません。それがきっかけで、デイサービスに通うことになりました。今では友人もでき、その方と会うのが楽しみでデイサービスへ通っています。逆に、その方がお休みされると寂しく思います。

これからも、1日でも長くデイサービスへ通えるよう、体調には十分に気を付けたいと思っています。



思い出の清水寺にて



都筑 功
(東海福寿園ディサービス)

プロフィール

性 格：穏やか、責任感が強い
趣味：ハイキング、旅行、音楽鑑賞、読書

生年月日：昭和13年5月10日

各施設 TOPICS トピックス



7月30日、「第22回渥美福寿園夏まつり」を4年ぶりに開催しました。まだコロナの影響もあり、デイ

夏まつり

渥美福寿園

暑さも吹き飛ぶ運動会

グループホーム ちた福寿の里

サービスご利用者や地域の方々を今までの大々的な開催はできませんでしたが、密にならないように時間をずらし、今回は、入居者とご家族の方に参加をしていただきました。久しぶりに開催しました。まだコロナの影響もあり、デイ

グループホームで初めての運動会を開催しました。玉入れの力ゴや応援のポンポンなどは利用者とともに手作りしました。競技一つひとつにも工夫を凝らし、玉入れは職員が力ゴを背負ってヘルメットを被って走りまわり、とても盛り上がりまし



た。どの競技も、利用者の皆さんのが本気で闘い、とても楽しい運動会となりました。最後には、皆さんそれぞれに、頑張りを称える手作りメダルの授与式を行いました。利用者の皆さんは次の運動会に向けて、早くも闘志を燃やしています。



7月14日にカレーバイキングを行いました。バイキングに使ったじゅが芋は、デイサービス利用者さんと職員が野菜を育てている「くすディファーム」

くすのきの里デイサービス

カレーバイキング



で収穫できたものです。バイキングのメニューは海老フライ、茄子、オクラ、白身フライ、ウインナーです。「コロナ対策として、聞き取りを行いながら職員が配るスタイルをとりました。畑の指導者ともいえる利用者さんがいたので木曜日の開催となり、40名の利用者さんに楽しんでいただくことができました。また畠で野菜を育てて、行事を行っていきたいと思います。

上手に割れるかな?

花の里グループホーム



スイカめがけて腕を振り下ろしますが、なかなか割れません。「もうちょっと右だよ!」「違う違う、左!」と応援にも力が入ります。交代で挑んでやっと割れたスイカは、楽しそも相まって、いつもより美味しく感じたと思います。

そだ！結婚式やろう♥♥

何か楽しいことはないかな？「そだ！結婚式をやろう！」

ちょうどデイサービスの介護職員と特養の介護職員が入籍しました。

当日まで本

人や利用者には内緒にし、役職者がウエディングスタッフになりました。

利用者さんはちょっと開催しました。



（今も夫婦円満の縁起の良い衣装）、ちょっとぴり緊張気味の利用者さんからの祝辞。クラスマックスは、遠く離れた新郎のお母さまよりラインビデオによるお祝いです。その日は素敵な優しい一日となりました。

お祝い御膳は重箱に詰め、新郎新婦の衣装はスタッフの使用した衣装（今も夫婦円満の縁起の良い衣装）、ちょっとぴり緊張気味の利用者さんからの祝辞。クラスマックスは、遠く離れた新郎のお母さまよりラインビデオによるお祝いです。その日は素敵な優しい一日となりました。



東海福寿園

世界にたつた一枚のハンカチ

玉ねぎの皮を使用して、草木染めハンカチを作りました。真っ白なハンカチにゴムを巻いたり割り箸を入れたりと、皆さん真剣に模様作りをやってくださいました。玉ねぎの皮を鍋で煮て煮汁を作り、ハンカチをいざ投入すると、白いハンカチがオレンジに染まっていきます。ミョウバン液に漬けた後にゴム等を外す際、指先を器用に使って真剣な表情で外してくださいました。どんな模様になつているのかドキドキ



ひまわり邸

気持ちをリフレッシュ！

「介護に関する勉強をしたい！」「日々の介護に役立てたい！」「話がしたい！」と意欲ある介護者12名が集まり、ひまわり邸で家族介護交流会を開催しました。めったに会うことのない言語聴覚士さんから、「呼気筋カトレーニング」等

お祝い御膳は重箱に詰め、新郎新婦の衣装はスタッフの使用した衣装（今も夫婦円満の縁起の良い衣装）、ちょっとぴり緊張気味の利用者さんからの祝辞。クラスマックスは、遠く離れた新郎のお母さまよりラインビデオによるお祝いです。その日は素敵な優しい一日となりました。



敷地内の一角に、入居者が趣味で作る菜園「ここにこファーム」があります。耕作向きでない環境ながらも、日が良く当たるよう周囲を整えたり、土を作り続けるなど、入居者の方が手探りで毎日コツコツと手入れをし、育ててきました。その努力が実を結び、夏野菜が豊作となりました

太陽と笑顔の恵み

ケアハウスパシフィック

敷地内の一角に、入居者が趣味で作る菜園「ここにこファーム」があります。耕作向きでない環境ながらも、日が良く当たるよう周囲を整えたり、土を作り続けるなど、入居者の方が手探りで毎日コツコツと手入れをし、育ててきました。その努力が実を結び、夏野菜が豊作となりました

想いを込め作業する姿は、活き活きと生きています。

自宅でできるリハビリの仕方を伝授していただきました。新しい学びや人との交流は、気持ちを前向きにします。「ちょっと苦しい時」、お近くの家族介護交流会に参加してみてください。次回は音楽療法。皆さんを笑顔にします！

ひまわりの街

竜神マルシェへようこそ！

ア世代を中心とした地域の方が作ったハンドメイド雑貨等を常設販売している「ひまわりマルシェ」を地域

夏空が広がる7月のある日曜日、芝生広場で竜神マルシェが開催されました！竜神マルシェは、地域の子育てママさんたちが主催で行っているマルシェで、ひまわりの街での開催は2回目。しっかりと感染対策を行いながら、たくさんのハンドメイド雑貨のお店やキッチンカーが参加され、大賑わいでした。ひまわりの街のロビーには、シニ

包括支援センターが運営しており、今回のマルシェでも出店させてもらいました。小さなお子さんからお年寄りまでたくさんの方が来場し、多くの素敵な笑顔が見られ、職員も一緒に楽しめました♪

地域の人々に愛される施設を目指し、これらも魅力あるイベントをたくさん開催していきたいです！

ケアハウスみなみ

入居者のボランティア

アルミ缶が集まりました。「アルミニウムも積もれば山となり」、7ヶ月分のアルミ缶が8袋となりました。

去年から、ボランティアの一環としてアルミニ缶収集を行っています。それまでは、資源ごみとして捨てるだけだったアルミニ缶。今は、洗って、専用ボックスで回収しています。初夏から真夏日の期間は、アルコールを飲まれる方もいらっしゃるため、前回よりも多くの

アルミニウム缶が集まりました。「アルミニウムも積もれば山となり」、7ヶ月分のアルミニ缶が8袋となりました。

これは地域の中学校での回収日に合わせ、入居者さんにも手伝つていただき、生徒さんに交じつて「たくさん集まるんだね。何が買えるんだろうね」と話します。次回の12月回収完了。次回の12月回収日に向けて、引き続きコツコツ溜めています。

以前はケアハウス入居者さんとデイサービス利用者さんで一



カフェ再開に向けて

デイサービスきぬうり

アルミニウム缶が集まりました。「アルミニウムも積もれば山となり」、7ヶ月分のアルミニ缶が8袋となりました。

これは地域の中学校での回収日に合わせ、入居者さんにも手伝つていただき、生徒さんに交じつて「たくさん集まるんだね。何が買えるんだろうね」と話します。次回の12月回収完了。次回の12月回収日に向けて、引き続きコツコツ溜めています。



北海道移動販売

昭和の里

「コロナ禍で遠方へ旅行に行けない

サービス付き高齢者向け住宅福寿の

入居者、昭和の里職員のために、株式会社「ユース細江様が移動販売を開催してくださいました。どれも選りすぐりの美味しい物ばかり！みんな袋いっぱいに買い物をしていました。特に人気だったのが「いかめし」で、あつという間に売り切れてしまいました。「北海道に旅行した気分が味わえた」と皆さん大変喜ばれました。好評につき第二弾も開催予定。次回はどんな商品が並ぶのか、今から楽しみです。



田原ゆの里

オンライン面会

コロナの影響により、遠方にいるご家族と会えない状況が続いている。そんな中、LINEのビデオ通話を利用した「オンライン面会」をしました。画面の中のご家族に向かって「あれ、いつ来ただね?」と、



実際に目の前に居ると思つて話しかけていました。声は聞こえていても、「何と言つてゐる?」と隣の職員に何度も確認することもありましたが、画面越しでも、良い表情に変わられるご利用者とご家族の様子を見ると、職員も自然と笑顔になりました。

今月は何か?

田原福寿園ヘルパーセンター

ヘルパーで訪問させていただくと、ご利用者さんとの会話の中で、「外に出掛けることがない」であなた達から情報が楽しみ」と言わることも多く、何

か季節感を感じてもら

えればと考へ、今年は季節を感じられるカレンダーを作成しています。カレンダーを渡すうちに『次は七夕かな、花火かな?』等、その月の季節を思い浮かべながら楽しみにしてくださっています。私たち職員も楽しみながら作成しています。

養護盲福寿園 懐かしい再会!

7月13日、大相撲名古屋場所（4日目）の観戦に出かけました。毎年この日を楽しみにしている入所者の皆さんですが、

この日をよく覚えていてくださり、入所者も職員も久々の再会に感激もひとしおでした。



武豊福寿園デイサービス スイカに気持ちを込めて

夏の風物詩であるスイカ割りを行いました。職員の実家で採れたての大きくて甘いスイカをたくさん用意して、曜日ごとに利用者と職員で挑戦し、とても盛り上がりました。割れたスイカをカットして、普段のおやつと併せて食べていただきました。

ペロリと平らげて、満足気な様子でした。熱中症対策として水分補給もでき、スイカと笑顔が弾けた夏の思い出となりました！



放課後等デイサービス ふくっこ ふくっこ大花火

子どもたちの夏休みの創作活動の一環として、ストローを切り開いて作ったスタンプを用いて、画用紙に花火を描きました。絵具で

る中、ふくっこの大花火では、個性あふれる色とりどりの大花火がお出迎えしてくれています。



「こんなにも食べられないよ」と嬉しそうに驚きつつも、皆様難なく

日間賀島謎解き体験 by アウトドアサークル



7月14日にアウトドアサークルを行いました。天気にも恵まれて総勢36名の職員が参加しました。企画は名鉄観光とのコラボで、日間賀島を散策しながら島にちなんだ謎解き体験をしました。チームに分かれて謎を解きながら、楽しく島を散策することができ、他施設や他部署の職員との親睦を深める良い機会になりました。昼食にはタコ飯や刺身など、ご当地グルメを美味しいいただきました。

初任者研修開校式

ひまわりの街 くすのきの里

6月11日にひまわりの街、6月25日にくすのきの里で、田原福祉グローバル専門学校主催の介護職員初任者研修の開校式が行われました。介護職員としてのスキルアップや介護未経験のため一から知識を付けたい方など、延べ34名の受講生が参加しました。受講生は皆、緊張した面持ちでしたが、これから半年間、介護の基本的知識・技術をしっかりと学んでほしいと思います。



渥美福寿園 環境美化活動 日々の館内清掃

7月の中頃に家族会環境美化活動を行いました。当初は、花の里の広い花壇の草取りを予定していましたが、あいにくの雨模様となってしまったため、館内の清掃を手分けして行いました。窓や壁を拭き、ピロティでは蜘蛛の巣取り等、広い範囲があつたという間にきれいになっていました。

ひまわりの街 ボランティア活動

7月3日に18家族26名のご家族の方が参加され、草取りや施設内の清掃を行っていただきました。雨の中の草刈りや車椅子の清掃、ロビーの窓ふきを手際よく進め、気持ち良い施設環境

7月23日、夏まつりに向けて窓拭きや草取り作業を行っていただき、園内外がとても綺麗になりました。暑い中の活動でしたが、ご家族同士会話も弾まれ、楽しい活動となりました。ご参加いただきありがとうございました。

渥美福寿園 環境美化活動



感染対策のために短時間での活動でしたが、久しぶりにご家族同士での情報交換もでき、よい機会となりました。

家族会だより

各施設での家族会や家族親睦会の活動を報告します。

になりました。きれいになつたロビー、地域交流ホールで入居者と楽しく過ごされました。

武豊福寿園 清掃活動



7月24日に施設周りの草取りと1階ロビー周りの窓の清掃をしていただきました。快晴でとても暑い中、20家族28名のご参加ありがとうございました。皆さんと一緒に清掃活動をし、一緒に時間過ごすことができ、家族会の「絆」が生まれたのではないかでしょうか。清掃活動終了後は冷たいアイスを食べ、疲れを癒しました。食事会は感染対策のため中止となりましたので、昭和の里のお菓子を持ち帰っていました。

New

連載

『新人介護士 フクちゃん』

Vol.1 楽人



【新連載スタート】福寿園オリジナル四コマまんが



作者紹介

楽人(かなと)

漫画家。愛知県出身。

2021年12月、講談社モーニング月例賞「身代金がこない」にて入選。雰囲気のある劇画風のタッチを得意とする。

今一番好きな食べ物はアイス。ワッフルコーンのアイスクリームに取りつかれている。最近登山を始めたが、帰宅後リュックの中からムカデが出てくるという初めての体験をした。

Twitter: KNTcmc

連載・施設長・管理者のリレーコラム

特別養護老人ホーム
くすのきの里

施設長 吉井 覚

私の趣味はトランペットとウォーキングです。「昼休みにラッパを吹けるだろうか。」「帰ったら今日はどこまで歩こうか。」そんな毎日を送っています。

トランペットは、現在3つのバンドで活動しています。475番カルテットは、福寿園の職員4人でやっている、ピアノボーカル兼爆笑MCの今井総務課長が昭和歌謡を歌い上げるおもしろバンドです。LTS Jazz Orchestraは職員のサークル活動で、経験者から初心者まで20人の職員で楽しみながらやっています。そして、Highnote Klaxonは地元のアマチュアビッグバンドで、このバンドには14年前から所属しています。このバンドで初めてジャズを経験し、すっかりSwingする人間になってしまいました。

もう一つの楽しみがウォーキング時々ランニングです。もともとはメタボ解消のために歩き始め、4キロも歩けば満足だったのですが、6キロになり、8キロになり、今ではいったん家を出たら10キロは歩かない満足できません。しかし、10キロ歩くとなると1時間40分くらいかかるので、その時間がもったいなくて、走るようになりました。日々の歩き走りのおかげで、体重もここ4年で10kg程度減り、座る時にお腹がつっかえなくなりました。

最後に悩みが一つ。体重が減り、特に腹周りが細くなるとラッパの音が小さくなってしまいます。「やせたいけど、大きな音でラッパも吹きたい。」そんなジレンマの46歳夏でした。

次号は、昭和の里の古田拓士管理者へバトンを渡します。



令和4年9月10日発行

■発行/社会福祉法人 福寿園
■理事長/山田浩三

愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
<https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001/14001認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。

